

利用報告書の書き方と提出方法(2024年度版)

計算科学研究センターを利用された方は、利用報告書の提出をお願いしております。

利用報告書は、下記の要領で作成したPDFファイルの提出をお願いします。

利用報告書は、今後の申請審査の参考にすると同時に、割当点数80,000点を超えるグループは「センターレポート」に記載

テンプレート(Microsoft Word)

- [テンプレート](#)

1 報告書の書き方

下記の書式に従って作成下さい。

用紙サイズ	A4サイズ縦（横書き）
ページ数	割当点数の合計が240,000点以下のグループ：1ページ 割当点数の合計が240,001点以上、2,400,000点以下のグループ：2ページ 割当点数の合計が2,400,001点以上のグループ：4ページ クラスタ専有利用制度利用グループ：上記のページ数+1ページ
余白	上下 各 25mm 左右 各 20mm
フォント	標準以外のフォントを使用される場合には、PDFファイル作成時推奨フォント 全角文字：「游明朝」、「游ゴシック」、「MS明朝」、「MSゴシック」 半角文字：「Times New Roman」、「Helvetica」、「Arial」、「Symbol」
表題 (研究課題名)	14ポイントのゴシック体太文字を使用し、中央揃えにして1行目必ず「利用申請書」に記入した研究課題名（和文と英文）を記述し、その後の研究過程によって内容に変更が生じ、内容と課題が一致しない場合は、その旨を記述する。 テンプレートには、表題用に「スタイル」内に「表題-利用報告書」を用意しました。
利用者氏名	12ポイントの明朝体を使用し、中央揃えにして利用申請書に記入した氏名の後には、括弧書きで所属名を記述して下さい。複数名が同一グループが実質的に独立したサブグループに別れている場合、ある場合は、その旨を記述する。 テンプレートには、利用者氏名用に「スタイル」内に「利用者名-利用報告書」を用意しました。
章見出し	12ポイントの明朝体を使用し、各章の頭には通し番号を付記して下さい。 テンプレートには、章見出し用に「スタイル」内に「章見出し-利用報告書」を用意しました。

節見出し	10ポイントの明朝体を使用し、1.1のように章番号と節番号をピ テンプレートには、節見出し用に「スタイル」内に「節見出し- 利用報告書」を用意しました。
本文	10ポイントの指定されたフォントを使用して記述して下さい。 テンプレートには、本文用に「スタイル」内に「本文- 利用報告書」を用意しました。
図表	図表は文章に貼付けて下さい。図表内のフォントは指定されたも 図のタイトルは10ポイントを使用し、図1.のように通し番号を付 表のタイトルは10ポイントを使用し、表1.のように通し番号を付 「センタレポート」は、PDF化して電子出版されますので、カラ テンプレートには、本文用に「スタイル」内に「図タイトル- 利用報告書」、「表タイトル- 利用報告書」を用意しました。
箇条書き	10ポイントの指定されたフォントを使用して記述してください。 テンプレートには、本文用に「スタイル」内に「箇条書き- 利用報告書」を用意しました。

内容	<p>次の項目を章見出しとして本文を記述してください。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 研究目的、内容2. 研究方法、計算方法 <p>使用したプログラムについても記述してください。</p> <ol style="list-style-type: none">3. 研究成果 <p>当センターを利用して得た成果を中心に詳細に記述して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none">4. 発表実績または予定 <p>必ず記述してください。</p> <p>実際、予定共にない場合は「なし」と記述してください。</p> <p>計算科学研究センターセンターを利用して得た成果による発表や</p> <ol style="list-style-type: none">5. 出版実績または予定 <p>必ず記述してください。</p> <p>実際、予定共にない場合は「なし」と記述してください。</p> <p>計算科学研究センターへの謝辞の記載がある出版には、前に星印</p> <p>※計算科学研究センターでは、施設利用を活用いただきまとめら</p> <p>計算科学研究センターへの謝辞を記載</p> <p>していただきますようお願いしております。</p> <p>本件は、計算センターの様々な資料作成に必要であり、施設利用</p> <p>英文：The computation was performed using Research Center for Computational Science, Okazaki, Japan (Project: 24-IMS-C999).</p> <p>和文：本研究の理論計算には自然科学研究機構計算科学研究セン Center for Computational Science)を利用した(Project: 24-IMS-C999)。</p> <p>謝辞の書き方の詳細は、</p> <p>https://ccportal.ims.ac.jp/acknowledgement</p> <p>をご覧ください。</p>
参考文献	参考文献のタイトルは（「参考文献」と記述）、章見出しと同様

2 利用報告書の提出方法

Webへのアップロードにてご提出下さい。

提出締切	<p>2025年6月1日(日)</p> <p>締切を過ぎてから提出された利用報告書は「センターレポート」</p>
提出物	利用報告書のPDFファイル
ファイル名	<p>ファイル名は report2024-(グループID).pdf</p> <p>としていただけると助かります。</p> <p>※</p> <p>グループIDは、計算科学研究センターのウェブページにログイン</p> <p>https://ccportal.ims.ac.jp/list_group_members</p>

提出先	自然科学共同利用・共同研究統括システム(NOUS)にログインし、 Pageの昨年度採択済課題もしくは採択済課題にある該当課題のr https://www.nins.jp/nous
-----	--

3 センター利用による研究成果の論文について

センター名(Research Center for Computational Science)と課題番号(例: 24-IMS-C999)が謝辞に記載された論文についてはNOUSによって自動的に検出されます。
この場合、NOUSのシステムより課題代表者に承認を促す通知メールが届くようになっておりますので、案内にしたがってご登録された論文の表題は「センターレポート」に記載するとともに、今後の申請審査の参考にします。

謝辞に関してはもう少し詳しい説明を謝辞の記載方法ページに用意しておりますので、こちらをご確認ください。
センター名を記載したものの課題番号を記載できなかった場合やいつまで待っても自動検出されない場合には、お手数ですが計算科学研究センターへの謝辞の記載がない論文の成果情報の登録は不要です。

登録時期	随時 利用報告書の締め切り以降に提出されたものは翌年のセンターレ
登録項目	DOI、タイトル、出版年、雑誌名、著者の各項目の登録をお願い
登録先	自然科学共同利用・共同研究統括システム(NOUS)にログインし、 Pageの採択済課題もしくは昨年度採択済課題もしくは過去の申請 https://www.nins.jp/nous
論文のPDFファイルの送付	原則、論文のPDFファイルを送付していただく必要はありません